



湿度、気温が高くなってきました。この時期は熱中症になりやすいため、暑さに負けないよう朝食をしっかり摂って登園しましょう。

プール活動は、体力を消耗しますので、熱がなくても、体調が優れない場合は、無理せずご家庭でゆっくり体調を整えましょう。

～毎朝の健康チェックをしましょう～

次の症状がある場合は、プールに入れません。ご家庭での十分な休養をお願いします。

- 37.5℃以上の発熱
- 腹痛や下痢または吐き気やおう吐
- 頭痛、のど、耳などの痛み
- 皮膚の発疹
(皮膚に発疹がある場合は登園してよいかを医師にご確認下さい。)
- 元気がなく、横になることが多い

- 咳、鼻水
- 顔色、機嫌が悪い
- 食欲がない
- 目の充血やたくさんの目やに
(目の充血がある場合は、登園してよいかを医師にご確認下さい。)

※風邪や溶連菌や急性中耳炎などで内服中の場合は、プールに入れません。体調を整えてからプールに入りましょう。

～楽しくプールに入るために～

衛生上髪を帽子にしまいますので 髪が長い場合は、帽子をかぶりやすいように髪を結んで、登園して下さい。

お風呂で 毎日、髪と体をしっかり洗いましょう。

爪が長いとお友だちを傷つけてしまうことがあり、危険です。 必ず爪を短く切りましょう。

～症状を確認しましょう～

次の症状があると、プールで悪化する場合があります。治療してからプールに入りましょう。

- 黄色い鼻水が続いている(鼻炎)
- 目が充血している(結膜炎)
- 耳が痛い、耳が聞こえにくい(中耳炎)

次の症状があるとプールに入れません。

- とびひ(かさぶたが取れるまで)
 - 水いぼ(じくじくしている時)
 - あたまじらみ(専用のシャンプーで治療を開始すれば、プールに入れます。)
- ※皮膚科を受診して治しましょう。(裏面もご確認下さい)

園からのお願い

- 虫よけパッチ、虫刺されパッチは、はがれた時に小さいお子さんの口に入ってしまうと危険ですので、園では使用できません。 体に貼っていないことをご確認下さい。
- プール期間中、ホクナリンテープ(気管支拡張剤)を貼っているとプールに入れませんが、朝、ご家庭ではがしてから登園して下さい。
- ビニール袋に入った衣類やタオルは、便やおう吐物、血液などで汚れたものですので、ご家庭での処理をお願いいたします。(保育園では、感染の広がりを防ぐため、便、おう吐物、血液の着いたものは、ビニール袋に入れて、そのままお返しいたしますので、ご了承下さい。)
- パンツの貸し出しについて・・・パンツを忘れた場合は、新品を園から貸し出しますので必ず新品をご返却下さい。

虫が増えています。虫刺されが気になる場合は、朝、虫よけクリームなどを塗ってから登園しましょう。



プールに入れる場合と入れない場合

症状が治まったようにみえても、ウィルスや細菌が排泄される感染症があり、注意が必要です。次の一覧を参考にし、似たような症状がある場合は、受診をしましょう。

○=入れる △=入れる場合がある ×=入れない

感染症・病気	可否	注意点など
水いぼ	△	水いぼの表面がじくじくしている場合はプールに入れません。乾燥していれば、プールに入れます。
とびひ	×	医師の判断で登園はできますが、かさぶたからも感染する場合があります。全てのかさぶたが治るまで、プールには入れません。
急性中耳炎	×	プールに入ること、症状が悪化してしまいますので、医師の許可が出るまではプールに入れません。
外耳炎	×	同上
急性副鼻腔炎	×	同上
滲出性中耳炎	△	耳に液を抜くためのチューブを入れている場合は、プールに入れません。医師の許可が出た場合は職員に相談して下さい。
アレルギー性鼻炎	○	症状が軽ければプールに入れます。医師に相談して下さい。
アレルギー性結膜炎	○	同上
手足口病	△	発熱がなく、普段の食事ができ、登園できる状態ならプールは可能です。医師に確認をして下さい。便中には数週間ウィルスが排泄されるので、おしりをしっかり洗ってから、プールに入ります。
ヘルパンギーナ	△	同上
咽頭結膜熱 (プール熱)	×	主な症状が消失してから2日を経過するまで登園できません。伝染性が強く、注意が必要です。
流行性角結膜炎 (はやり目)	×	結膜炎の症状が消失するまで登園できません。伝染性が強く、発症後2週間は感染力があります。
腸管出血性 大腸菌感染症 (O-157など)	×	症状が治り、かつ抗菌剤の治療が終了し、48時間あけて連続2回の検便でいずれも陰性が確認されれば登園できます。プールでは、予防するためおしりをしっかり洗います。
アタマジラミ	○	髪の毛の接触で感染します。治療と毎日の駆除を行っていれば入れます。プールの中でうつることはほぼありません。タオルの共用などからうつるので、注意が必要です。

春の健康診断を終えて

5月21日(木)に春の健康診断を行いました。

●皮膚の湿疹や乾燥●

(皮膚が荒れていると、細菌に感染しやすくなったり、アレルギー物質が皮膚から入りやすくなったりします。皮膚を整えて、抵抗力を高めましょう。)

引き続き、入浴後の保湿クリームなどで、肌を整えましょう。

●便秘・・・3～4日間便が出なかったら受診をしましょう。

※健康診断の結果で、分からないことや不安なことがありましたら、職員にお声かけ下さい。